



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2015年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2014年11月17日

株式会社ケアサービス
(JASDAQ 2425)

- P. 3 2015年3月期 第2四半期決算概要
 2015年3月期 通期業績予想概要
- P.18 中期成長戦略の骨子
 重点施策の概要
- P.28 参考資料
 - 高齢者人口と介護保険法改正の推移
 - ケアサービスの変遷
 - 高齢者サービスの方向性（ライフエンディングステージ）



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2015年3月期 第2四半期決算概要 2015年3月期 通期業績予想概要

15/3月期 第2四半期（累計）決算サマリ（対前年同期比）

- 売上高： 対前年同期比 3.7%増収
 - 介護事業を中心に、既存店の売上増
- 営業利益： 同 10.6%減益
 - 全社的要因：消費税増税及び新規システム構築に伴う付帯経費増
 - 事業別要因：フォーライフ事業の経費増及びハウスクリーンサービスの売上減
- 四半期純利益：同 13.4%減益

(百万円)	14/3月期 2Q（累計）		15/3月期 2Q（累計）		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	3,636	100.0%	3,771	100.0%	134	3.7%
売上総利益	537	14.8%	542	14.4%	5	1.1%
販売費及び一般管理費	404	11.1%	423	11.2%	19	4.9%
営業利益	133	3.7%	118	3.2%	△ 14	-10.6%
経常利益	129	3.5%	119	3.2%	△ 9	-7.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	-
四半期純利益	73	2.0%	64	1.7%	△ 9	-13.4%

15/3月期 第2四半期（累計）（14-5-15付 対期初予想比）

- 売上高： 対期初予想比 0.4%減収
- 営業利益： 同 14.4%増益
- 経常利益： 同 21.7%増益
- 四半期純利益：同 16.4%増益

(百万円)	15/3月期		2Q(累計)		対期初予想比 (5/15付)	
	期初予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	3,786	100.0%	3,771	100.0%	△ 14	-0.4%
営業利益	104	2.7%	118	3.2%	14	14.4%
経常利益	98	2.6%	119	3.2%	21	21.7%
四半期純利益	55	1.5%	64	1.7%	9	16.4%

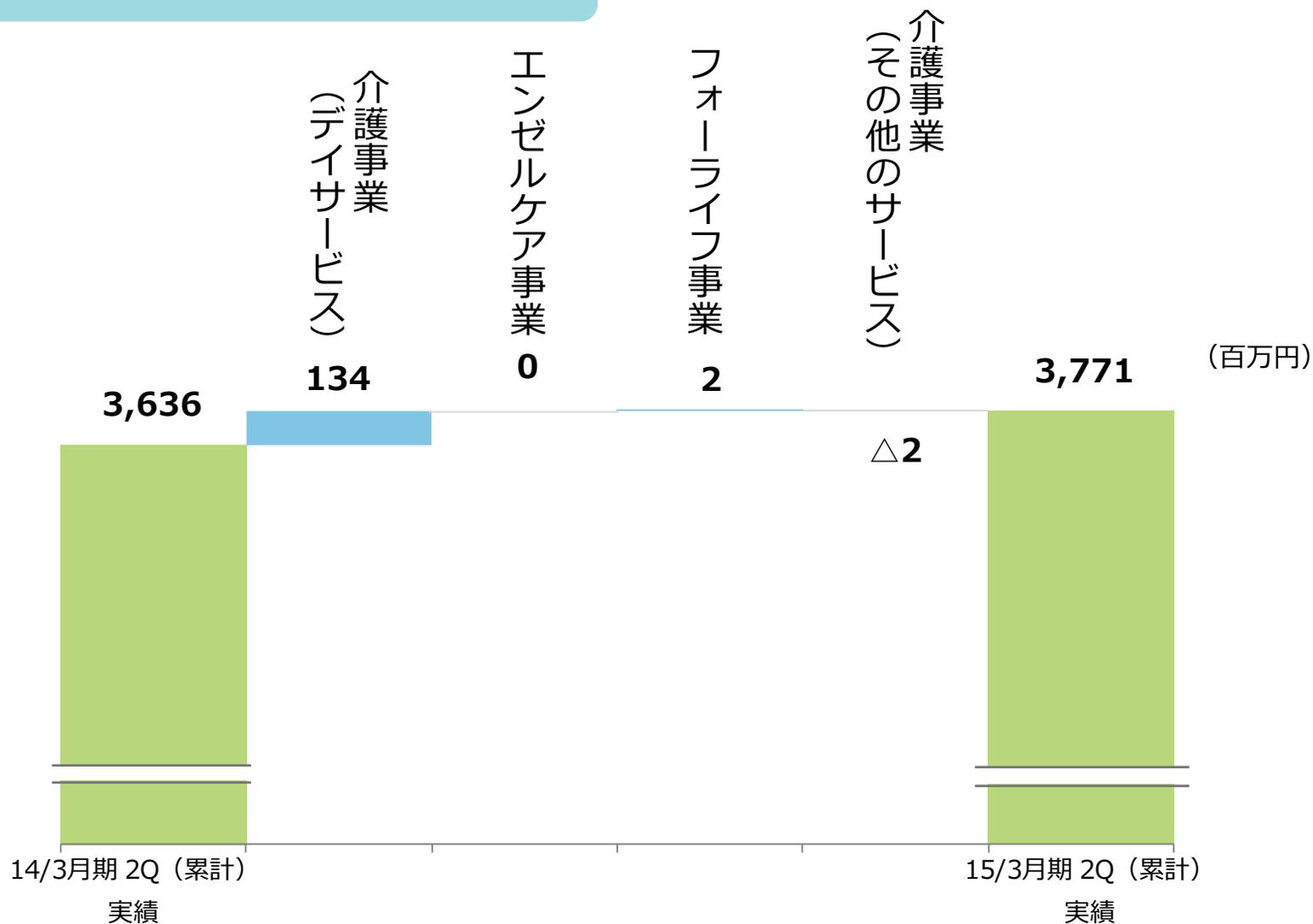
15/3月期 第2四半期（累計）事業別業績概要

- 介護事業： 対前年同期比4.9%増収
- エンゼルケア事業： 同 0.0%増収
- フォーライフ事業： 同 1.2%増収

(百万円)	14/3月期 2Q（累計）		15/3月期 2Q（累計）		対前年同期比	
	実績	対売上高 構成比	実績	対売上高 構成比	増減額	増減率
売上高	3,636	100.0%	3,771	100.0%	134	3.7%
介護事業	2,706	74.4%	2,838	75.3%	131	4.9%
エンゼルケア事業	739	20.3%	740	19.6%	0	0.0%
フォーライフ事業	189	5.2%	192	5.1%	2	1.2%
セグメント利益	432	11.9%	442	11.7%	9	2.3%
介護事業	242	9.0%	305	10.8%	62	25.8%
エンゼルケア事業	172	23.3%	155	21.0%	△ 17	-10.0%
フォーライフ事業	17	9.3%	△ 17	-9.3%	△ 35	-202.1%
調整額	△ 299	-8.2%	△ 323	-8.6%	△ 23	8.0%
営業利益	133	3.7%	118	3.2%	△ 14	-10.6%

15/3月期 第2四半期（累計）売上高の増減分析

デイサービス・エンゼルケア事業・
フォーライフ事業とも、対前期比で増収を達成

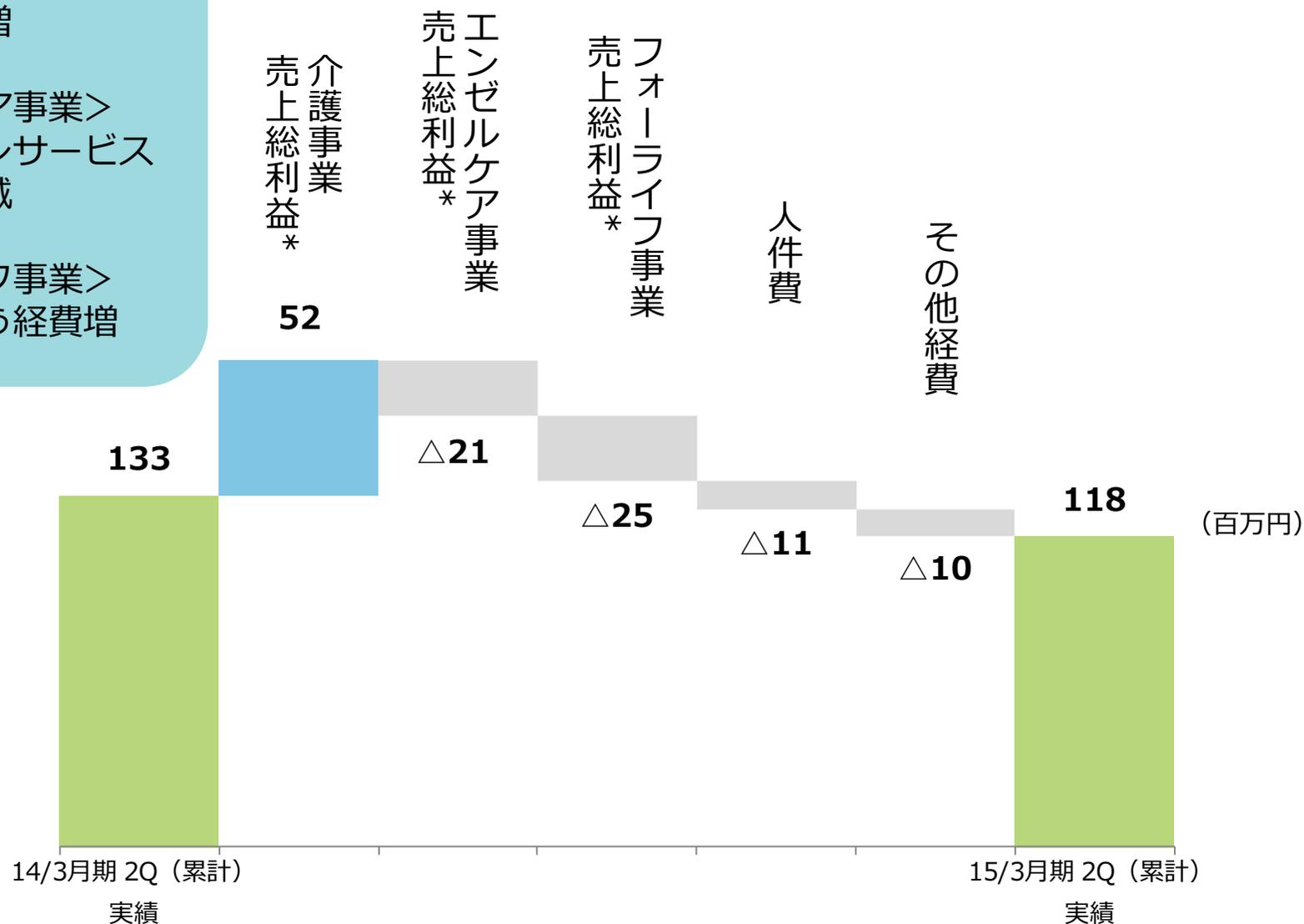


15/3月期 第2四半期（累計） 営業利益の増減分析

<介護事業>
 既存店の売上増

 <エンゼルケア事業>
 ハウスクリーンサービス
 における売上減

 <フォーライフ事業>
 新店開設に伴う経費増



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

15/3月期 第2四半期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	14/3月期末		15/3月期 2Q末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,319	72.6%	2,064	69.9%	△ 254
現金・預金	1,092	34.2%	746	25.3%	△ 345
売掛金	1,093	34.2%	1,178	39.9%	84
固定資産	874	27.4%	887	30.1%	13
有形固定資産	338	10.6%	349	11.8%	10
無形固定資産	181	5.7%	158	5.4%	△ 23
投資その他の資産	354	11.1%	380	12.9%	26
資産合計	3,193	100.0%	2,952	100.0%	△ 240
流動負債	1,314	41.2%	990	33.6%	△ 323
買掛金	147	4.6%	129	4.4%	△ 18
短期借入金	300	9.4%	-	-	△ 300
1年以内返済予定の 長期借入金	197	6.2%	247	8.4%	49
固定負債	761	23.9%	812	27.5%	50
長期借入金	449	14.1%	574	19.5%	124
負債合計	2,076	65.0%	1,803	61.1%	△ 273
株主資本	1,116	35.0%	1,148	38.9%	32
資本金	205	6.4%	205	6.9%	0
資本剰余金	138	4.3%	138	4.7%	0
利益剰余金	829	26.0%	897	30.4%	68
自己株式	△ 55	-1.7%	△ 91	-3.1%	△ 36
評価・換算差額等	0	0.0%	0	0.0%	0
純資産合計	1,116	35.0%	1,149	38.9%	32
負債・純資産合計	3,193	100.0%	2,952	100.0%	△ 240

【ご参考】自己資本比率の推移

- 14/3月期末 35.0%
- 15/3月期 2Q末 38.9%

15/3月期 第2四半期（累計）キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	14/3月期 2Q（累計） 実績	15/3月期 2Q（累計） 実績	対前年同期比 増減額
税引前当期純利益	129	119	△ 9
減価償却費	62	73	11
売上債権の増減額	△ 74	△ 84	△ 10
仕入債務の増減額	12	△ 18	△ 31
その他	△ 206	△ 101	105
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 77	△ 11	66
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 22	△ 104	△ 81
借入金の増減額	53	△ 125	△ 178
配当金の支払額	△ 20	△ 21	0
その他	△ 89	△ 83	5
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 57	△ 230	△ 173
現金及び現金同等物の増減額	△ 157	△ 345	△ 188
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,008	746	△ 261

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	14/3月期 2Q末				15/3月期 2Q末				対前年 同期末比 増減数
	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	
介護事業	3	0	1	81	2	0	0	83	2
通所介護サービス	1	0	1	52	1	0	0	53	1
うち、認知症対応型	1	0	0	4	0	0	0	4	0
訪問入浴サービス	1	0	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	0	0	0	15	1	0	0	16	1
エンゼルケア事業	2	0	0	20	0	0	0	20	0
フォーライフ事業	0	0	0	3	0	0	0	3	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	14/3月期 2Q末	15/3月期 2Q末	対前年 同期末比 増減数
介護事業	894	944	50
エンゼルケア事業	176	183	7
フォーライフ事業	43	59	16
合計	1,113	1,186	73

<ご参考>

**通所介護サービス：「Aタイプ」導入店舗 全27店舗中
(14/4月～14/9月期末時点までの新規導入店舗)**

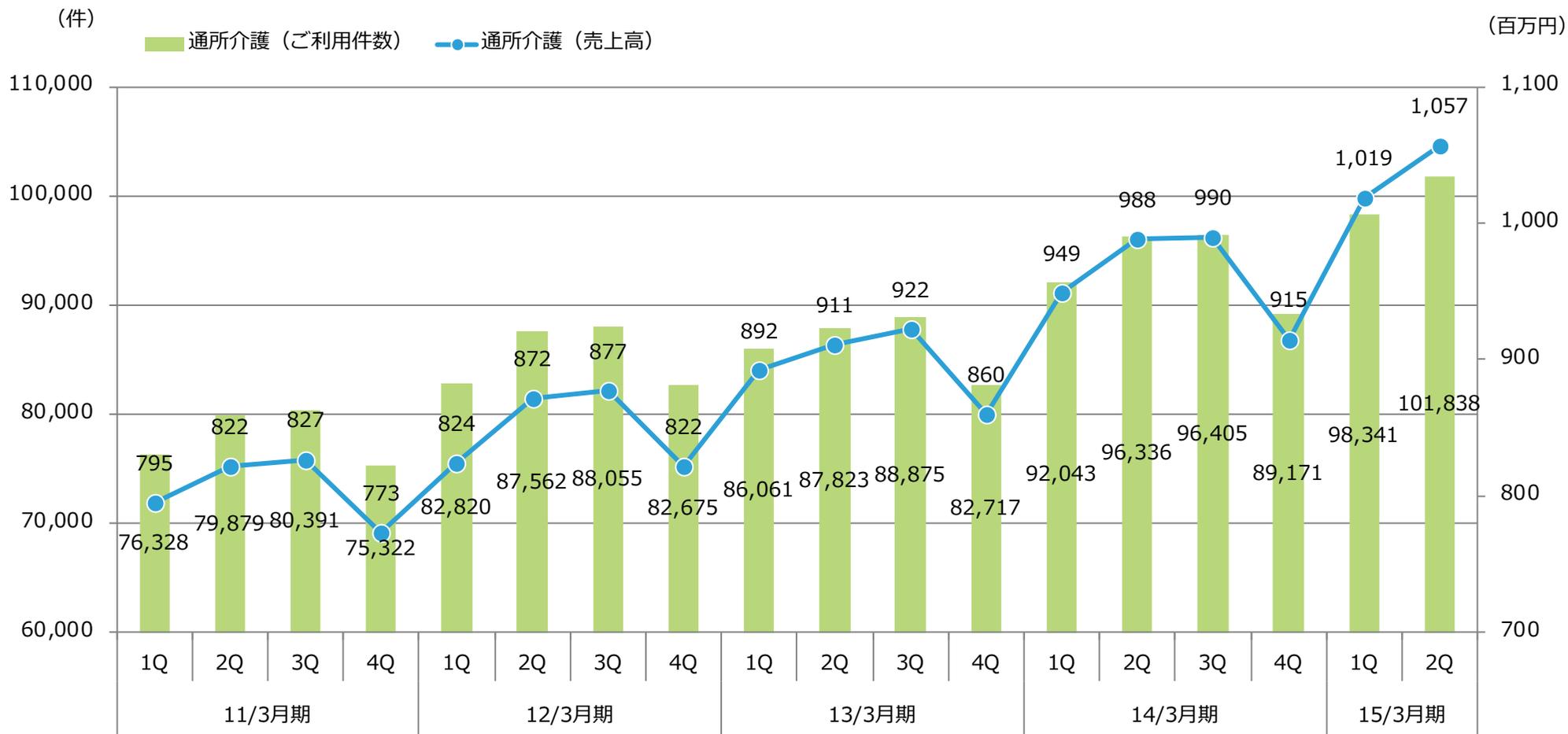
- デイサービスセンター吉祥寺【定員25名/一般型】
- デイサービスセンター西保木間【定員33名/一般型】
- デイサービスセンター文京千石【定員20名/認知症対応型】

介護サービス別売上高とご利用件数の推移（半期・通期）

- 事業所開設、既存店におけるお客様の増加により、売上高、ご利用件数ともに増加

	13/3月期 実績			14/3月期 実績			15/3月期 実績
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高【百万円】							
介護事業	2,557	2,508	5,065	2,684	2,629	5,313	2,838
通所介護	1,803	1,775	3,578	1,937	1,905	3,842	2,076
訪問入浴	516	489	1,005	513	496	1,009	522
その他	238	244	482	234	228	462	240
ご利用件数							
介護事業	250,412	245,703	496,115	264,603	258,556	523,159	273,178
通所介護	173,884	170,755	344,639	188,379	185,576	373,955	200,179
訪問入浴	37,301	35,343	72,644	37,256	36,070	73,326	37,203
その他	39,227	39,605	78,832	38,968	36,910	75,878	35,796

介護事業 (通所介護) ご利用件数の推移





2015年3月期 業績予想概要

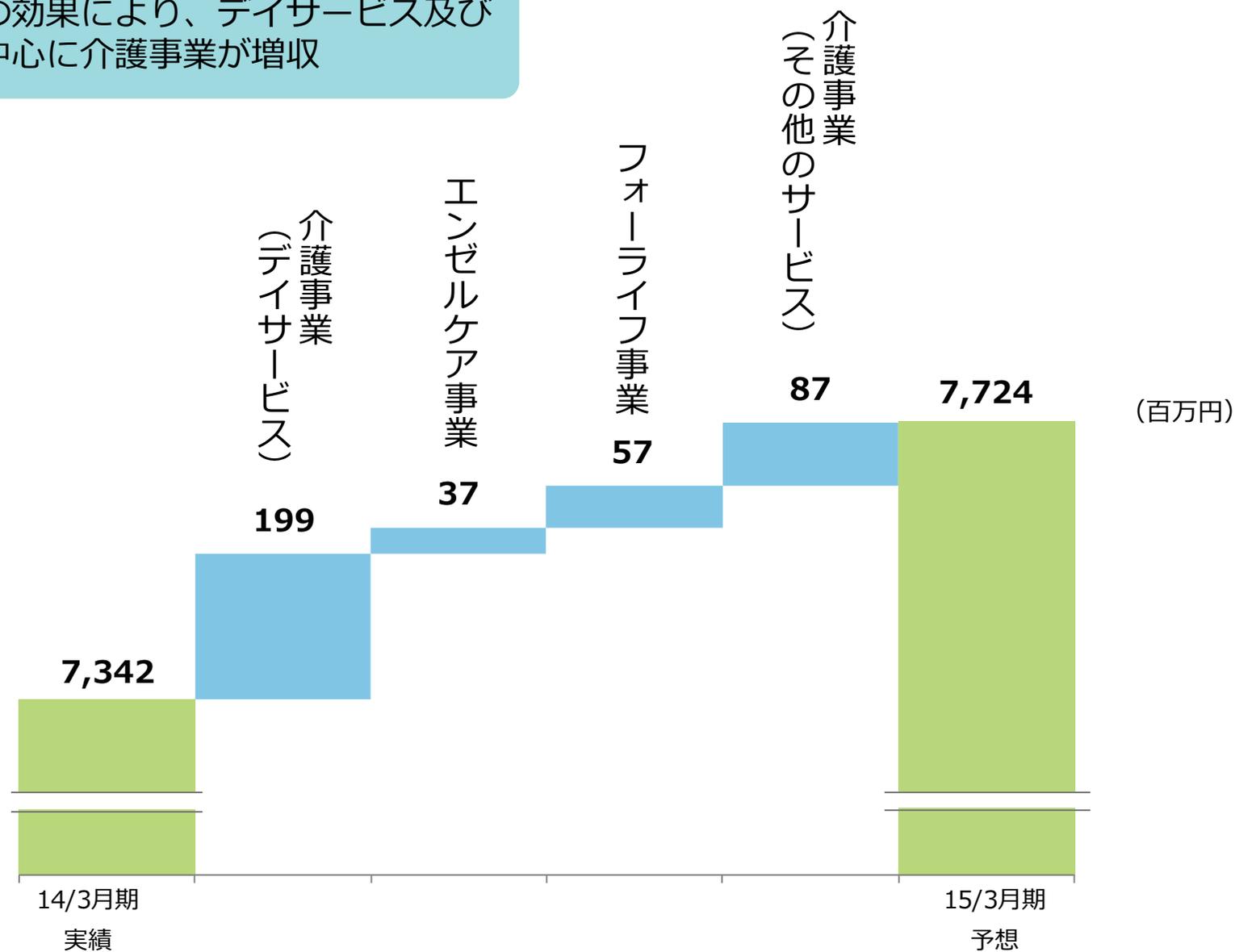
- 事業所開設等による介護事業の増収、稼働率の更なる改善に伴うエンゼルケア事業及びフォーライフ事業の増収を前提
- 上記、増収に伴う増益を前提

【ご参考】

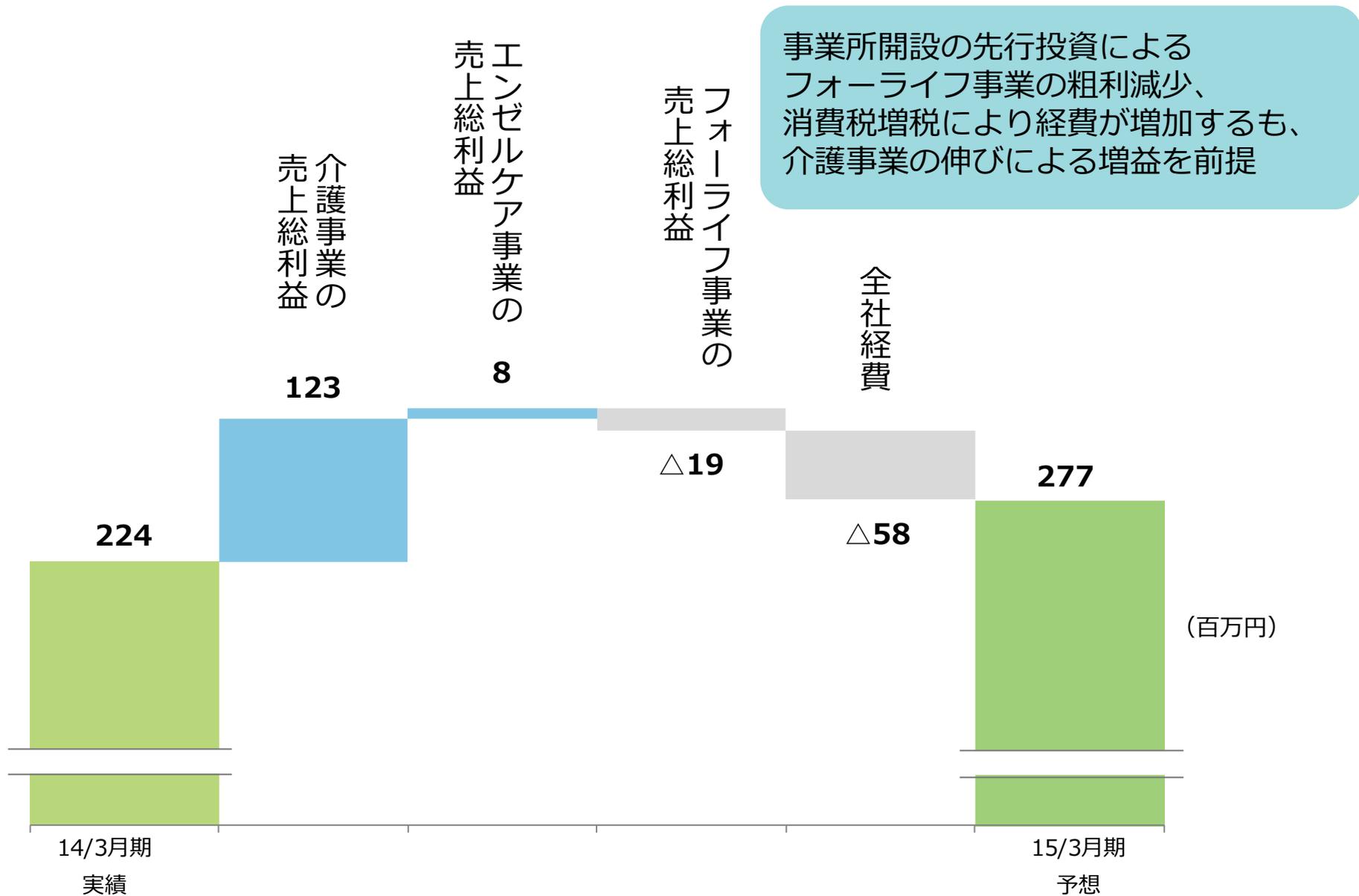
	(単位)	14/3月期			15/3月期			対前期比	
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	(百万円)	3,636	3,705	7,342	3,771	3,952	7,724	381	5.2%
介護事業	(百万円)	2,706	2,650	5,356	2,838	2,805	5,644	287	5.4%
エンゼルケア事業	(百万円)	739	862	1,602	740	899	1,639	37	2.3%
フォーライフ事業	(百万円)	189	193	383	192	248	440	57	14.9%
営業利益	(百万円)	133	91	224	118	158	277	53	24.0%
経常利益	(百万円)	129	90	219	119	146	266	47	21.5%
当期純利益	(百万円)	73	43	117	64	86	150	33	28.4%

15/3月期 売上高予想の増減分析

今期開設事業所の効果により、デイサービス及び
フォーライフを中心に介護事業が増収



15/3月期 営業利益予想の増減分析





中期成長戦略推進の状況

ケアサービスの企業理念の実践

“当たり前前の事を当たり前に行い、来たるべき変化に先んじて積極的に対応する”

企業理念

- 私たちは、お客様一人ひとりの尊厳に共感したサービスを提供します
- 私たちは、全従業員とその家族の幸せを追求します

企業理念実践のために

- お客様の尊厳を第一とするサービスの創造
- 品質の高いサービスの継続的提供

ケアサービスの
あるべき姿を支える
「ケアサービスフィロソフィ」



Aタイプの導入推進※1

※1 Aタイプとは「高いサービス品質を効果的かつ効率的に提供する」ケアサービスで定めた業務標準です

接遇、スタッフ育成、予定実績、業務フロー、環境整備、コンプライアンスの項目から構成されており、サービスレベルの底上げを図っています

計画の実行・前倒し※2

※2 立てた計画をスケジュールに従い、着実に進め、可能なものは前倒しで実行し、新たなものに取り組む方針を示しています
例) 出店計画、基幹システムのリプレイス、配食事業

今期の出店計画

- デイサービスセンター新規出店3店舗を計画しております。
- フォーライフ（サービス付き高齢者向け住宅）新規開設1施設を計画しております

デイサービス3店舗

- 2014年4月 デイサービスセンター吉祥寺開設
- 2014年12月 デイサービスセンター西蒲田開設（予定）
- 2015年2月 デイサービスセンター豊町開設（予定）

フォーライフ1店舗

- 2014年11月 フォーライフ草加開設

ショートステイ1店舗

- 2015年1月 ショートステイ西蒲田開設（予定）



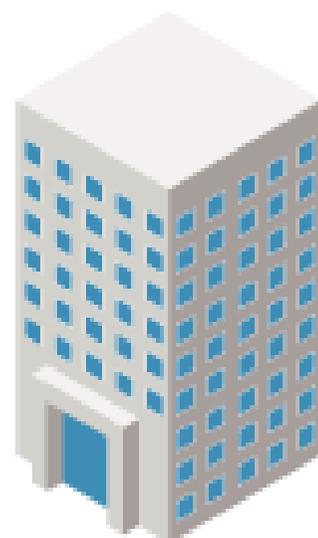
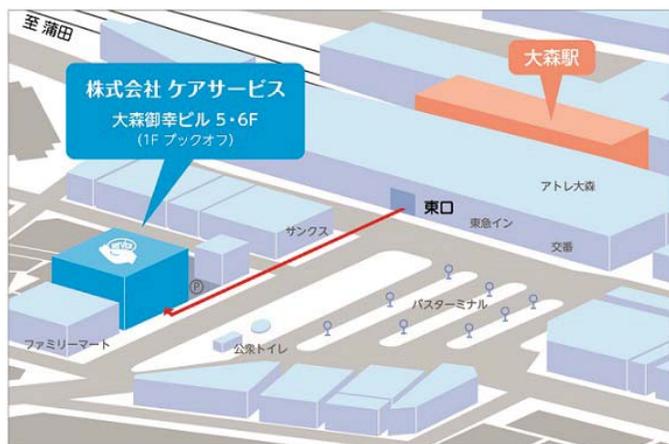
デイサービス西蒲田
ショートステイ西蒲田



デイサービス豊町

本社機能移転（12月8日予定）

- 本社への組織集約を通じ、全従業員参加型経営に向けた取り組み強化
- 採用・研修機能の強化
- 旧本社における実務研修の強化



6F

本社機能と事業本部機能を集約

社内コミュニケーションの活性化→
「首都圏におけるドミナント戦略の推進」
の加速度的な実現

5F

面談、研修に特化したスペース

採用・教育・研修の拠点として整備→
人材採用・人材育成に注力し、
「長期成長に向けた強い体制作り」

自立支援の強化

コミュニティセンターの推進

コミュニティセンターの推進により、地域の高齢者の方々が積極的にコミュニケーションをとれる場を提供

- 9月21日より、フォーライフ草加にて、毎週日曜日のコミュニティセンター開催
- デイサービス東矢口で毎週日曜日に行っているコミュニティセンターが1年経過

重度化予防の取り組み

- すべてのデイサービスセンターにて、認知症、栄養改善、口腔機能向上、機能訓練など重度化予防の取り組みを推進
- 陶芸、編み物、絵手紙、瀬戸物絵付け、書道、メディカルアロマ、フラワーアレンジメントなどお客様が本当に「やりたい」と思うプログラムをプロの講師が指導する教室活動プログラム「遊悠倶楽部」の実施



遊悠倶楽部展覧会

■ 「通い」「訪問」「泊まり」「+α」の拡充

- デイサービスセンター西蒲田の開設（2014年12月予定）
- ショートステイ西蒲田の開設（2015年1月予定）

■ 介護と医療の連携強化

- くどうちあき脳神経外科クリニックと認知症の事例検討会を月次で継続開催し、認知症対応型デイサービスの専門性を向上



- デイサービスセンター西蒲田、ショートステイ西蒲田は医療法人社団 泰信会 秋田医院 (<http://www.akitaiin.jp/>) に隣接しており、積極的な連携を図ってまいります。

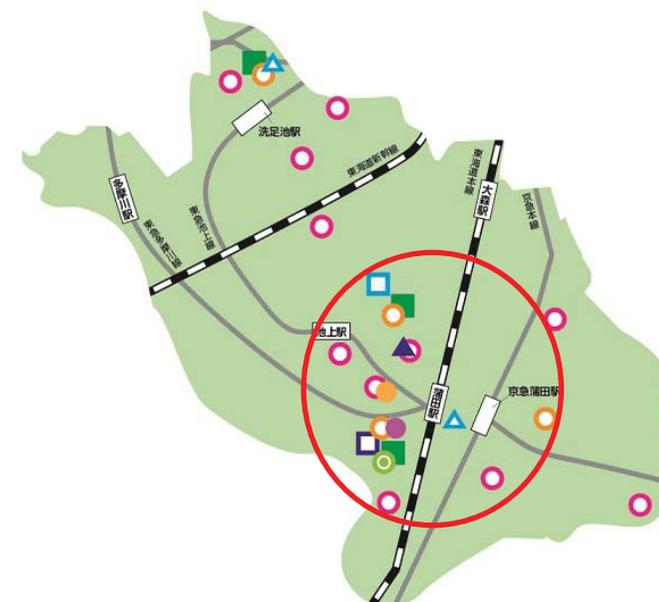


ショートステイ西蒲田

デイサービスセンター西蒲田

大田区事業所マップ

- 「通い」 — ○ デイサービスセンター
- 「訪問」 — □ 訪問介護
■ 訪問入浴
- 「泊り」 — ▲ ショートステイ
▲ 居宅支援
- 「+α」 — ● コミュニティセンター
■ 介護レンタル
● ハウスクリーン
□ 配食
○ エンゼルケア



デイサービスセンター東矢口に加えて、フォーライフ草加においても活動展開

月 火 水 木 金 土 日



コミュニティセンターを開設した
デイサービスセンター東矢口

・デイサービスセンター
・フォーライフ

- ・地域のご高齢者の皆様の通所介護拠点/
・皆様の身近にあるサービス付き高齢者向け住宅

・コミュニティセンター

日曜日は、「みんなで作る地域のたまり場」をめざした、近隣の皆様のコミュニティ拠点

ニーズの掘り起し

地域高齢者の皆様に本当に望まれるサービス提供



フォーライフ草加外観



コミュニティ会場

デイサービスセンター東矢口で人気のあった講座

- ①手芸教室（老人クラブ共催）
- ②ペットボトルホルダーづくり（老人クラブ共催）
- ③葬儀社の選び方セミナー
- ④老人ホーム選び方セミナー
- ⑤膝痛・腰痛予防運動/無料版



コミュニティセンター（東矢口）利用者の住居分布 半径1km圏で大部分の方をカバー



2014年6月

大田区内にセントラルキッチンを開設

当社デイサービスセンターのお客様からの貴重なご意見を参考に、自社専属の複数の管理栄養士がメニューを考案

平成26年9月実績

既存デイサービスセンター12拠点（290食/日）の昼食提供

デイサービスセンターご利用者様から味に対する満足の声

松茸ごはんの日

「こんな家じゃ食べられないよ～」

使用した松茸の総量は6kg、そこに鎮座するだけで、王者の貴録と香り…これも、家じゃ見られない風景でしたよ！

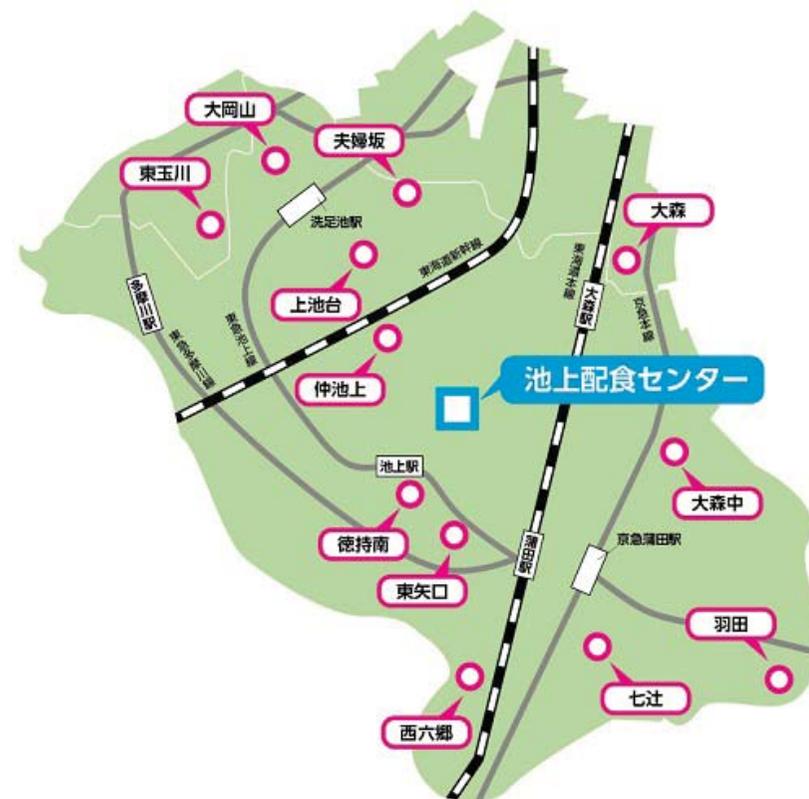
「おやつが美味しくて、とても楽しみ！」

手作りのおやつも増えました。

旬の味覚 さんま

「これって、冷凍？生？」

池上センターのお魚は、冷凍魚を使用していません。信頼できる魚屋さんが、築地で仕入れて、その都度配達してくれています。冷凍魚を使うと、解凍する時に、お魚自身が持っている水分や栄養素が抜けてしまいます。ぱさつきの原因にもなります。脂ののった旬の魚をお出ししています。



配食サービス（通常食の例）



ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

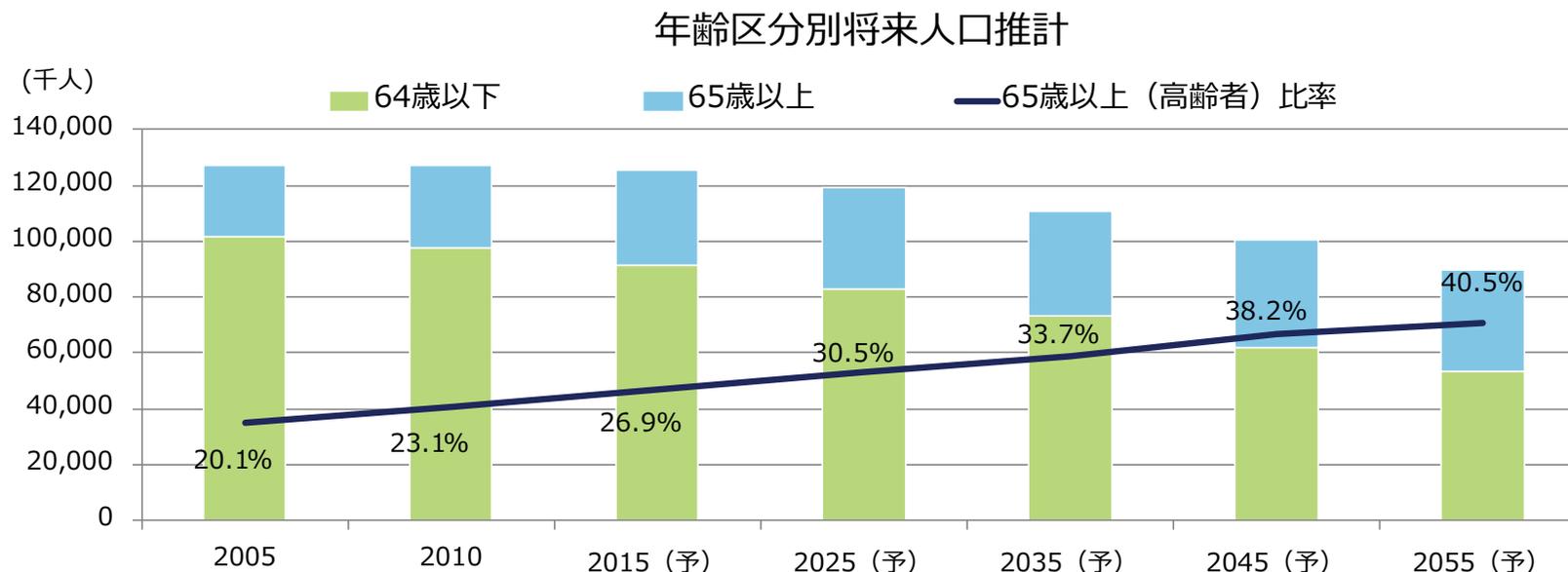
参考資料①

高齢者人口と介護保険法改正の推移

- 2015年以降、高齢人口が大きく拡大し、2055年時点では、65歳以上の高齢者比率が40%を超える模様

当社の見方

団塊世代に介護人口が拡大する2015年前後から、介護業者が選択される時代に入り、競争が激化すると想定



資料：2005年は総務省「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

出所：平成23年版 高齢社会白書

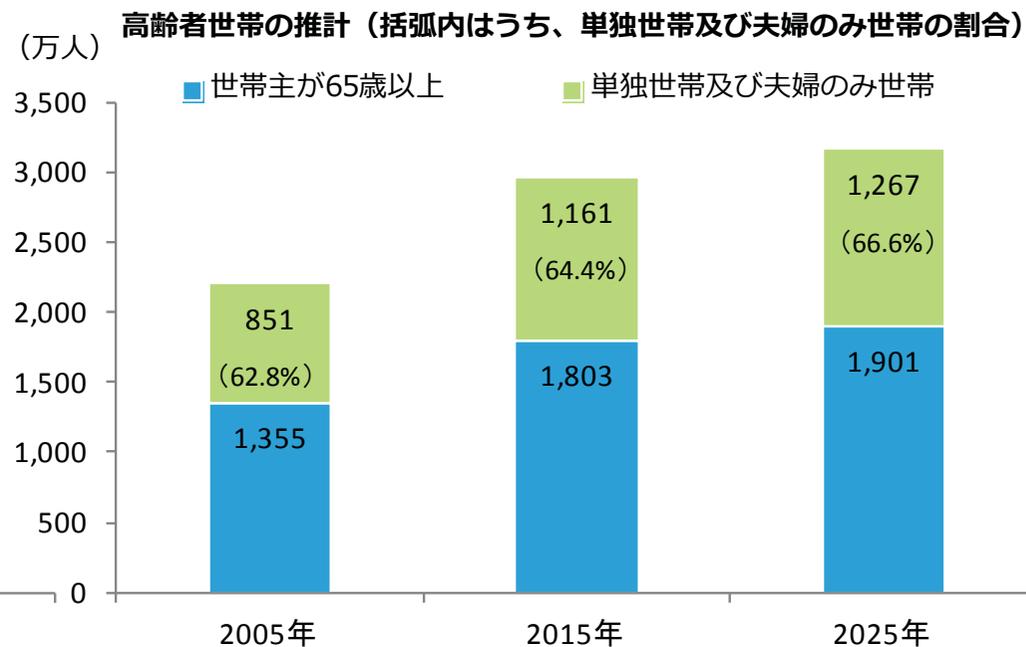
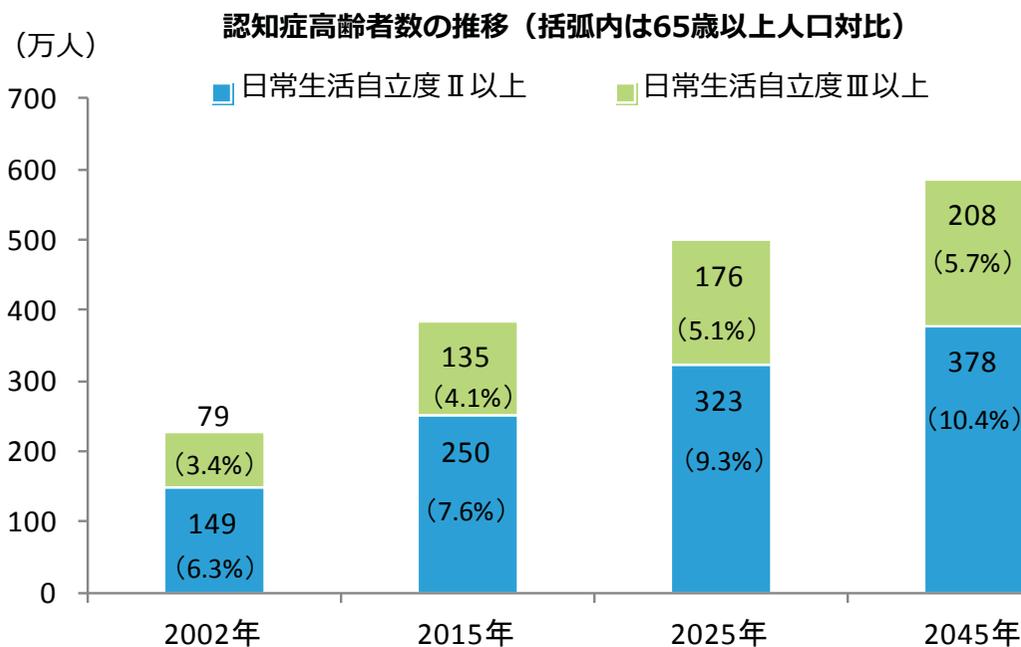
(注) 2005年の総数は年齢不詳を含む。

■ 75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加し、2055年には25%を超える見込み

	2008年	2015年	2025年	2055年
75歳以上高齢者の割合	10.4%	13.1%	18.2%	26.5%

■ 65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加

■ 世帯主が65歳以上の世帯のうち、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加

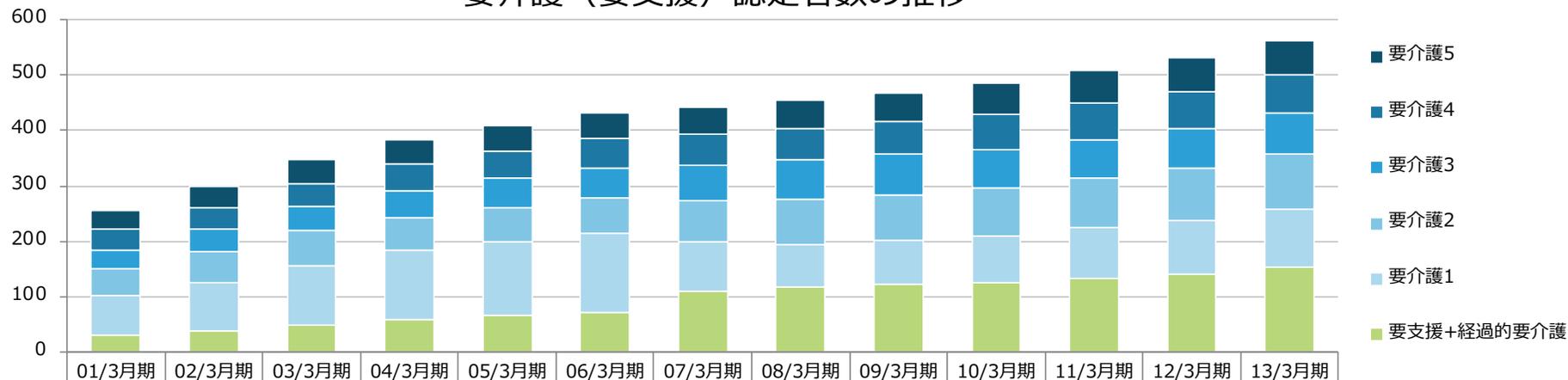


出所：公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
H23年5月18日掲載 国土交通省「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料
厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋

- 高齢化の進展、介護保険制度の浸透に伴い、要介護認定者数も中長期的に拡大
- 一方で、受給者負担増の傾向により、要支援2以下が介護保険対象外になる見通し

(単位：万人)

要介護（要支援）認定者数の推移



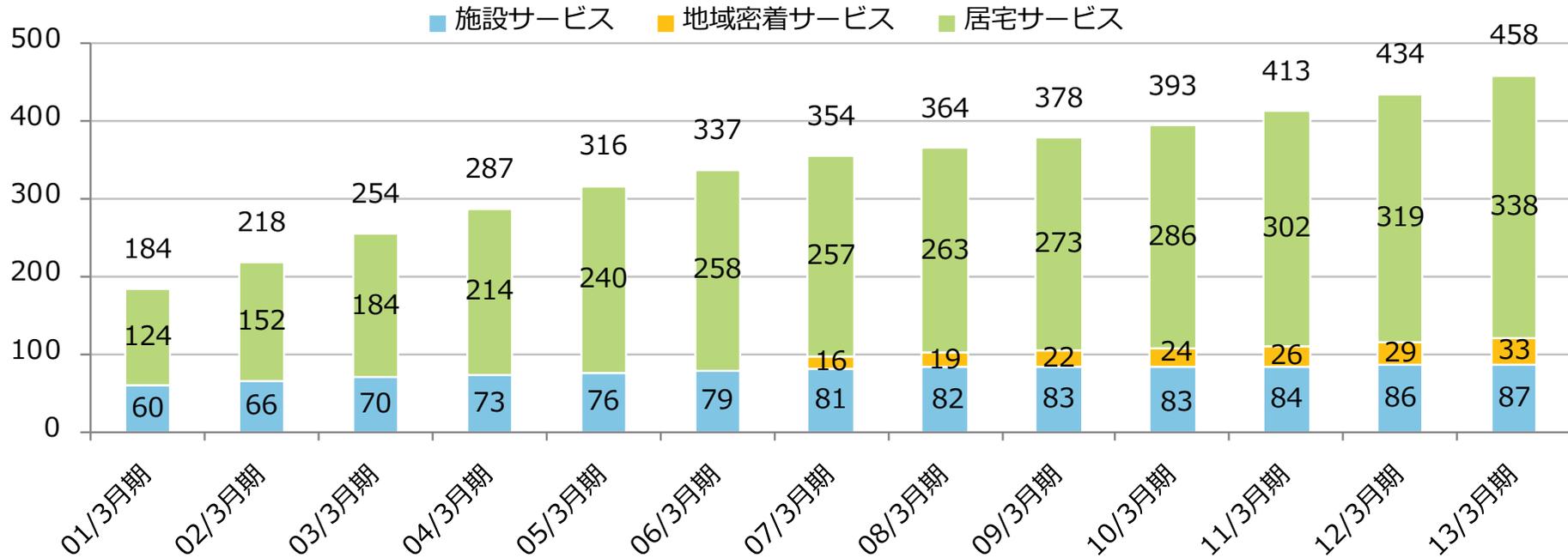
	01/3月期	02/3月期	03/3月期	04/3月期	05/3月期	06/3月期	07/3月期	08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期	12/3月期	13/3月期
要介護5	34	38	41	45	46	46	49	50	51	56	59	61	61
要介護4	36	39	42	47	49	52	54	57	59	63	64	66	69
要介護3	35	39	43	49	52	55	64	71	74	71	70	72	74
要介護2	48	56	64	60	61	64	75	80	82	85	90	95	99
要介護1	70	87	106	124	133	142	90	77	78	85	91	97	105
要支援+経過的要介護	32	39	50	59	67	72	109	118	123	125	133	140	153

出所：平成24年度 介護保険事業状況報告

■ 高齢化に伴い、重要度を増す医療連携の居宅サービス、地域密着サービス

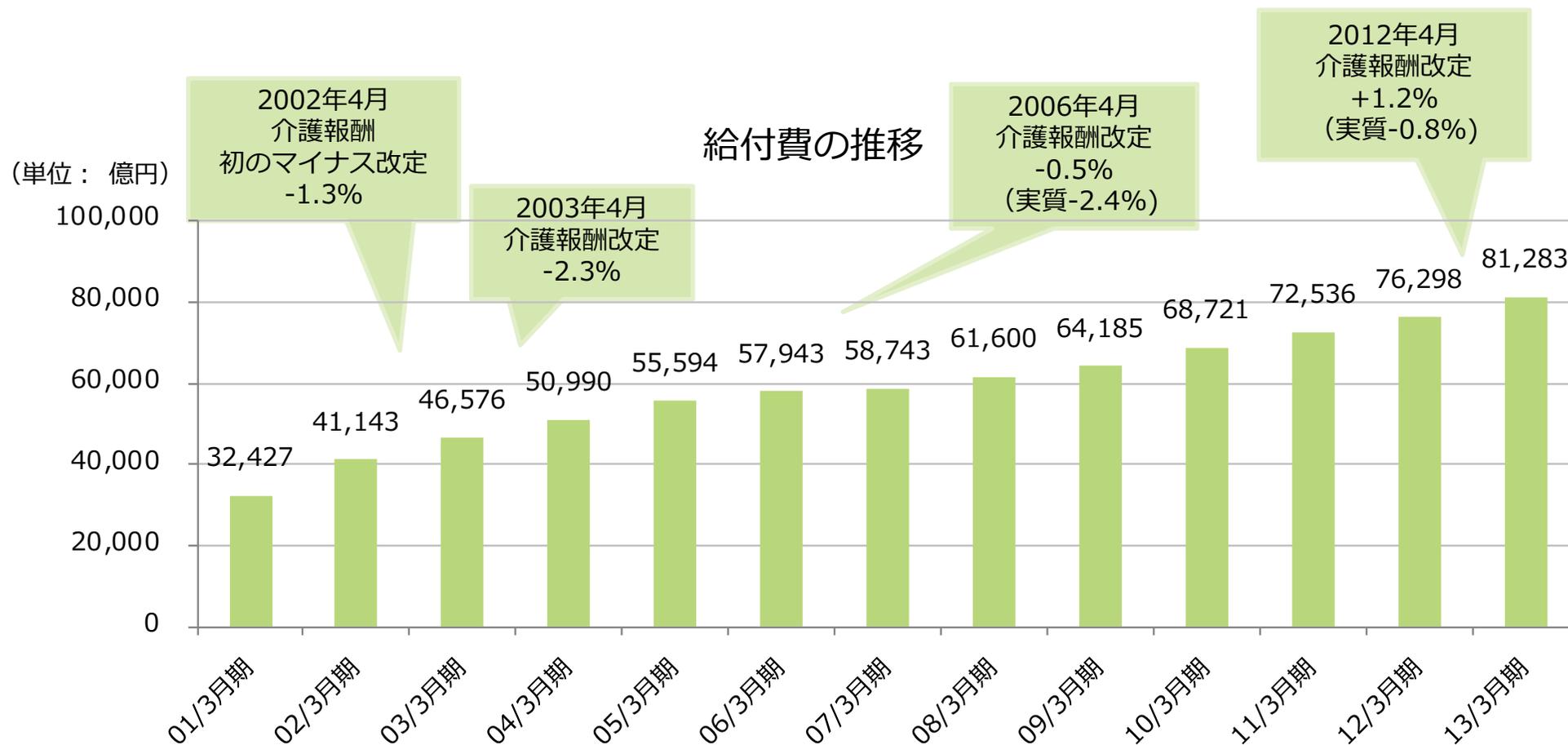
サービス受給者数の推移

(単位：万人)



出所：平成24年度 介護保険事業状況報告

■ 給付費拡大に伴い、改定に際し介護報酬の引き下げが進む



出所：平成24年度 介護保険事業状況報告を基に作成

サービス種類別・地域区分別の1単位の単価

サービス種類 ※ 旧介護保険制度による単価 (単位: 円)	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10				
●訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型 ●ケアマネジメント ●介護予防支援	11.05	10.7	10.42	10.35	10
●訪問看護 ●訪問リハビリテーション ●デイケア ●認知症デイサービス ●小規模多機能	10.83	11.55	10.33	10.28	
●デイサービス ●ショートステイ ●特定施設 ●グループホーム ●地域密着特定施設 ●地域密着特養 ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護療養病床	10.68	10.45	10.27	10.23	

サービス種類 ※ 2012年度改正による単価 (単位: 円)	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10						
●訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型 ●ケアマネジメント ●介護予防支援 ●訪問看護 ●定期巡回・随時対応型	11.26	11.05	10.84	10.7	10.42	10.21	10
●訪問リハビリテーション ●デイケア ●認知症デイサービス ●小規模多機能 ●複合型サービス	10.99	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	
●デイサービス ●ショートステイ ●特定施設 ●グループホーム ●地域密着特定施設 ●地域密着特養 ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護療養病床	10.81	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	

※ サービス種類については、介護予防サービスのある居宅サービス及び地域密着型サービスは介護予防サービスを含む
出所：介護保険サービス指定基準と介護報酬 平成24年度改正対応を基に作成

■ 首都圏をはじめとする都市部における急速な高齢化（65歳以上人口）の進行

都市部における高齢化人口	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	秋田県	山形県	鹿児島県	(万人)
2005年時点での高齢者人口	230	116	106	149	31	31	44	
2015年時点での高齢者人口	306	179	160	218	34	34	48	
増加率	33%	55%	50%	47%	11%	10%	10%	

出所：東京都を除き、公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

H23年5月18日掲載 国土交通省「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料

厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋

東京都データについては、東京都発行の冊子【人口動向から見た【2020年の東京】】より抜粋

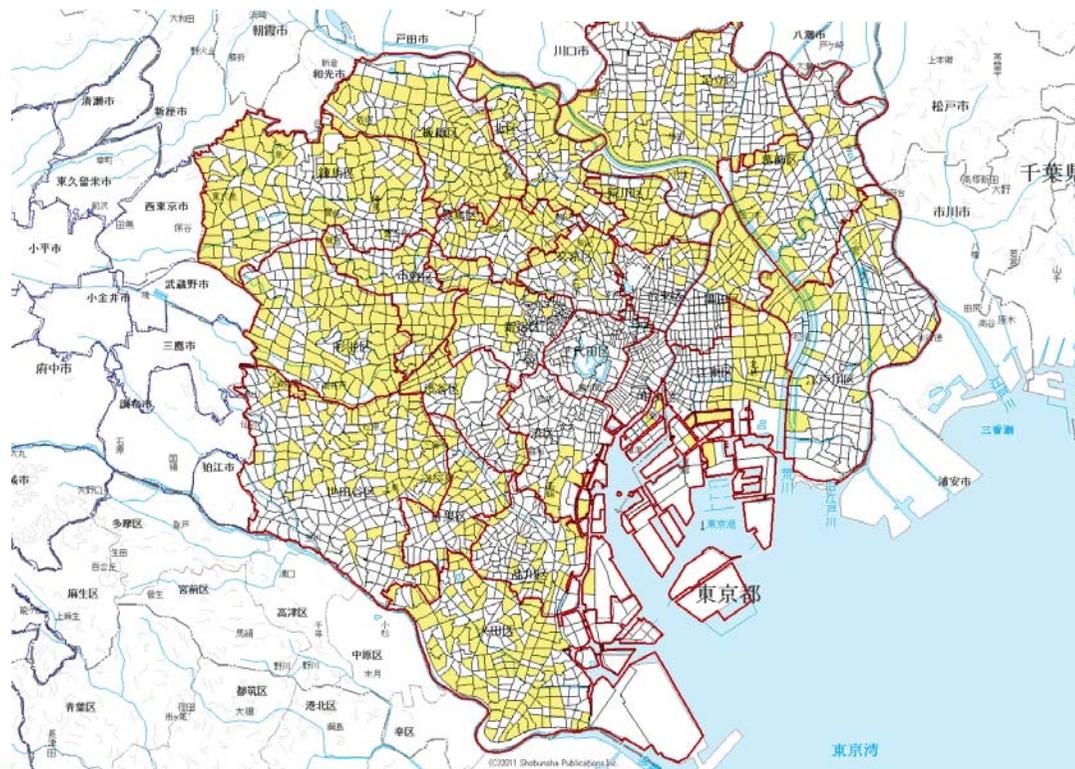
■ 他地域に先駆けて

高齢化が先行する東京23区

黄色：65歳以上の要介護者数が多く、
かつ25歳～69歳人口が多い地域

出所：Terra Mapで作成

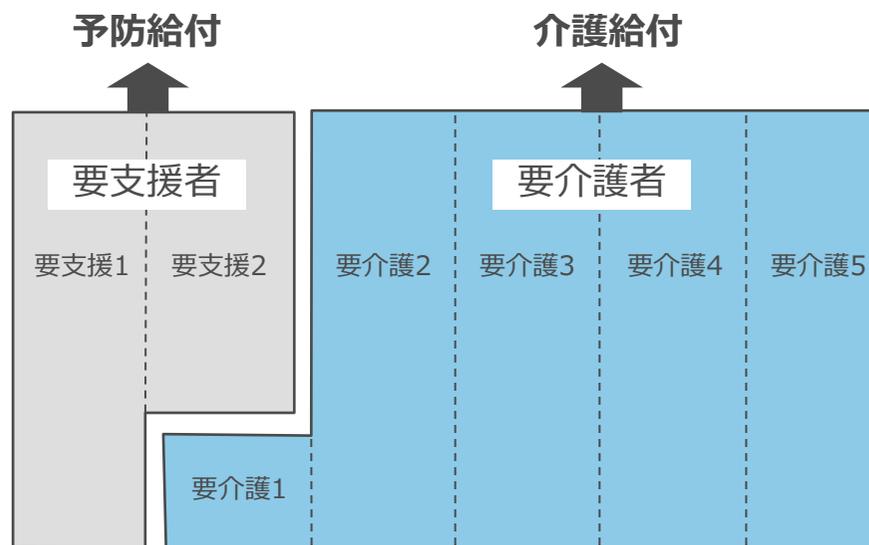
東京23区内 高齢者人口分布



地域における高齢者の自立した生活を目的に、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」実現に向けた取り組みの推進

- 医療と介護の連携の強化等
- 介護人材の確保とサービスの質の向上
- 高齢者の住まいの整備等
- 認知症対策の推進
- 保険者による主体的な取り組みの推進
- 保険料上昇の緩和

保険給付と要介護状態区分のイメージ



- 要支援者は予防給付、要介護者は介護給付とする
- 給付の効率化の観点から、要支援者に対する予防給付については、支給限度額、報酬単価の見直しを行う

現行区分： 要支援 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

出所： 厚生労働省老健局「介護保険制度改革関連法案 -参考資料-」をもとに、当社にて作成

- 多様な主体による柔軟な取り組みにより効果的かつ効率的にサービスを提供できるよう、予防給付の訪問介護、通所介護は、事業にすべて移行（平成29年度末＝2017年度末まで）
- その他のサービスは、予防給付によるサービスを利用

予防給付によるサービス

- ・ 訪問介護
- ・ 通所介護

- ・ 訪問看護
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 通所リハビリテーション
- ・ 短期入所療養介護
- ・ 居宅療養管理指導
- ・ 特定施設入所者生活介護
- ・ 短期入所者生活介護
- ・ 訪問入浴介護
- ・ 認知症対応型通所介護
- ・ 小規模多機能型居宅介護
- ・ 認知症対応型共同生活介護
- ・ 福祉用具貸与
- ・ 福祉用具販売
- ・ 住宅改修 など

訪問介護、通所介護
について事業へ移行

新しい総合事業によるサービス

(予防給付新地域支援サービス＝
介護予防・生活支援サービス事業)

- ・ 訪問型サービス
 - ・ 多様な担い手による生活支援
- ・ 通所型サービス
 - ・ ミニデイなどの通いの場
 - ・ 運動、栄養、口腔ケア等の教室
- ・ 生活支援サービス (配食・見守り等)
 - ・ 介護事業所による訪問型・通所型サービス

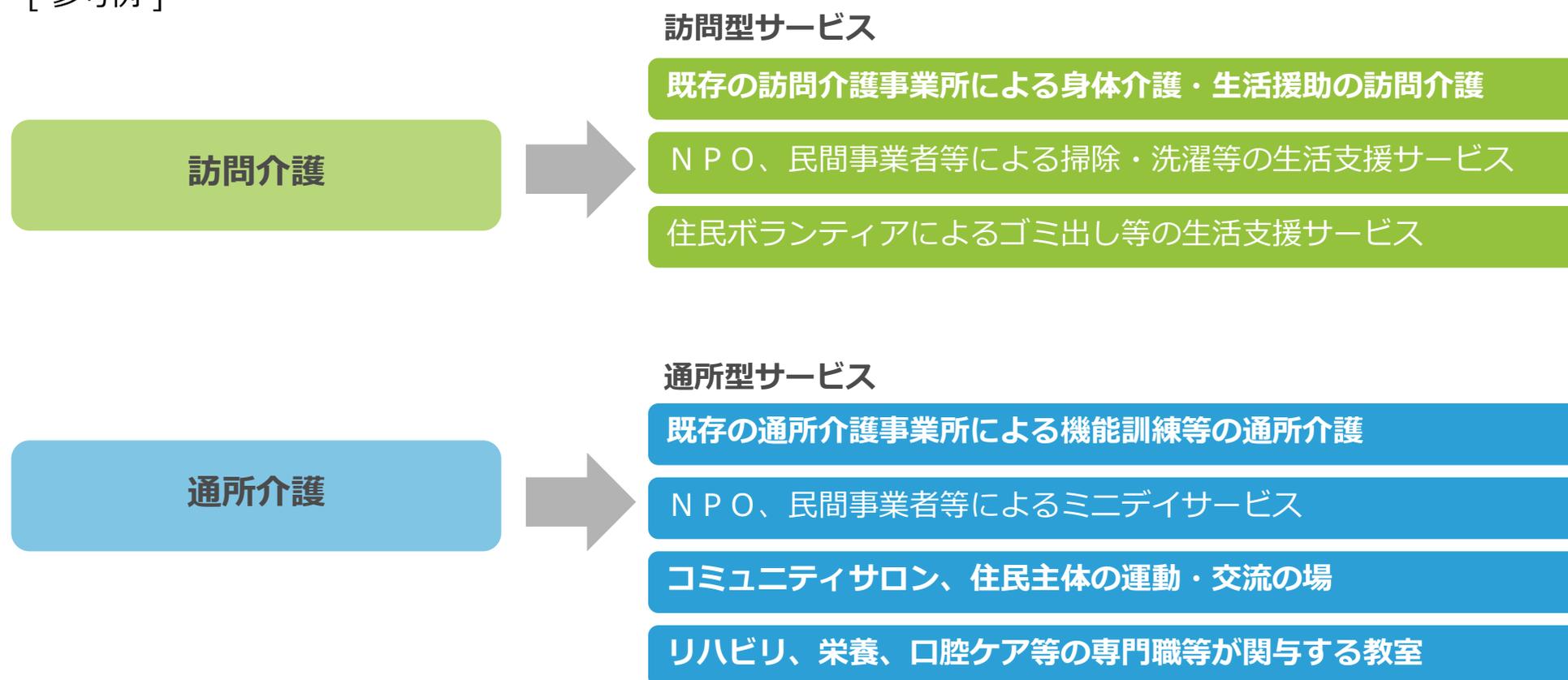
※多様な主体による多様なサービスの提供を推進
※総合事業のみ利用の場合は、基本チェックリスト該当で利用可

従来通り、予防給付の範疇

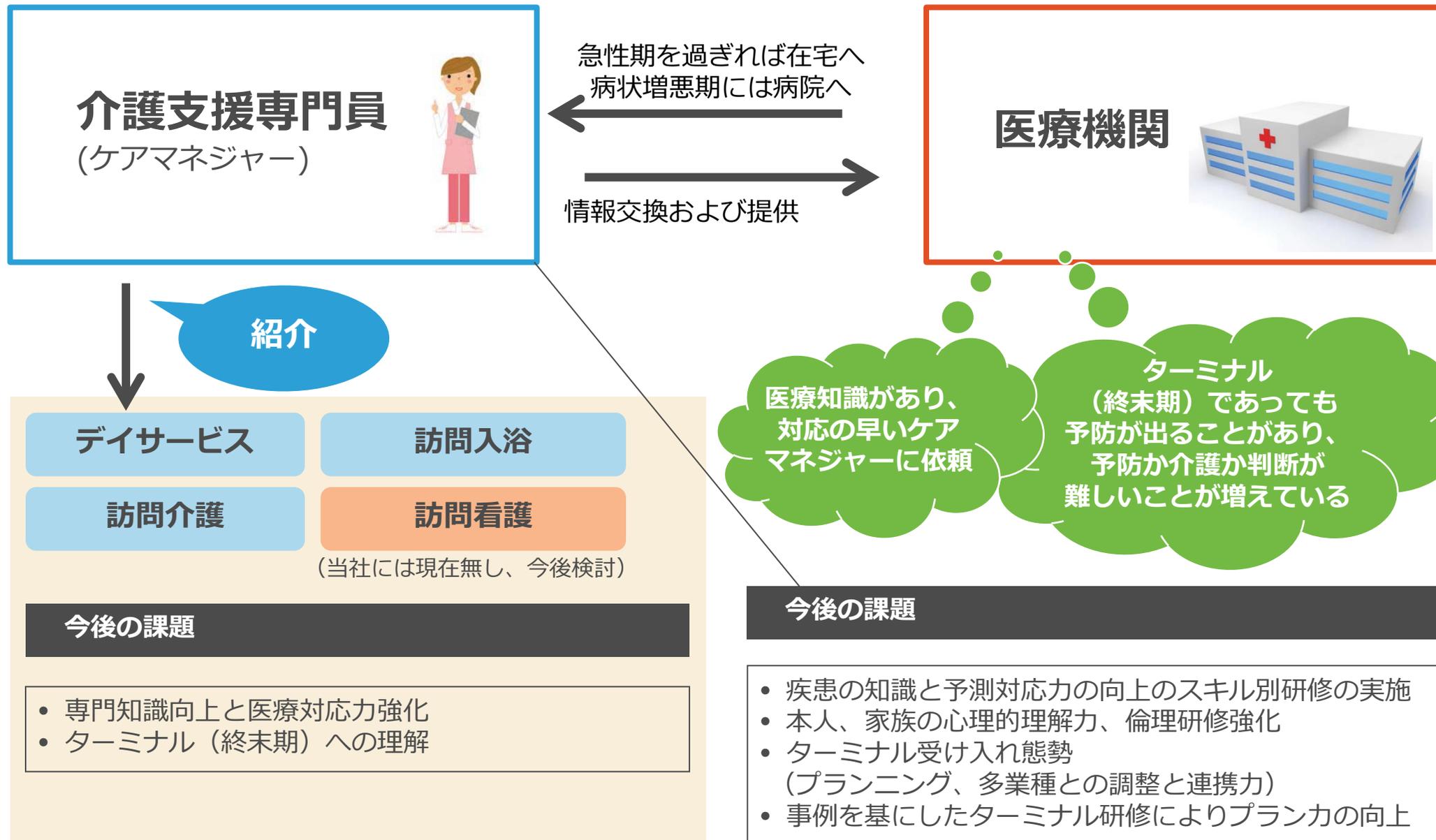
出所： 社会保障審議会 介護保険部会（第52回）平成25年11月14日
資料2「予防給付の見直しと地域支援事業の充実」

- 全国一律のサービス内容であった訪問介護や通所介護については、市町村の総合事業に移行することにより、既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、多様なサービスが多様な主体により提供され、利用者が多様なサービスを選択可能となる

[参考例]



出所： 社会保障審議会 介護保険部会（第52回）平成25年11月14日
資料2「予防給付の見直しと地域支援事業の充実」

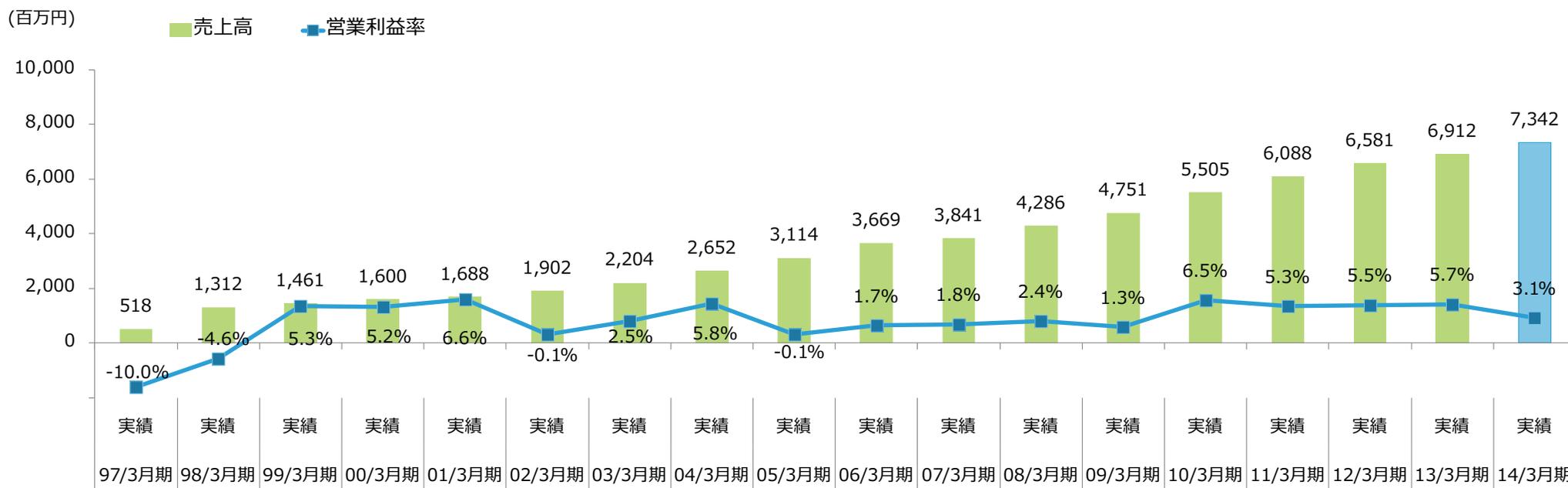


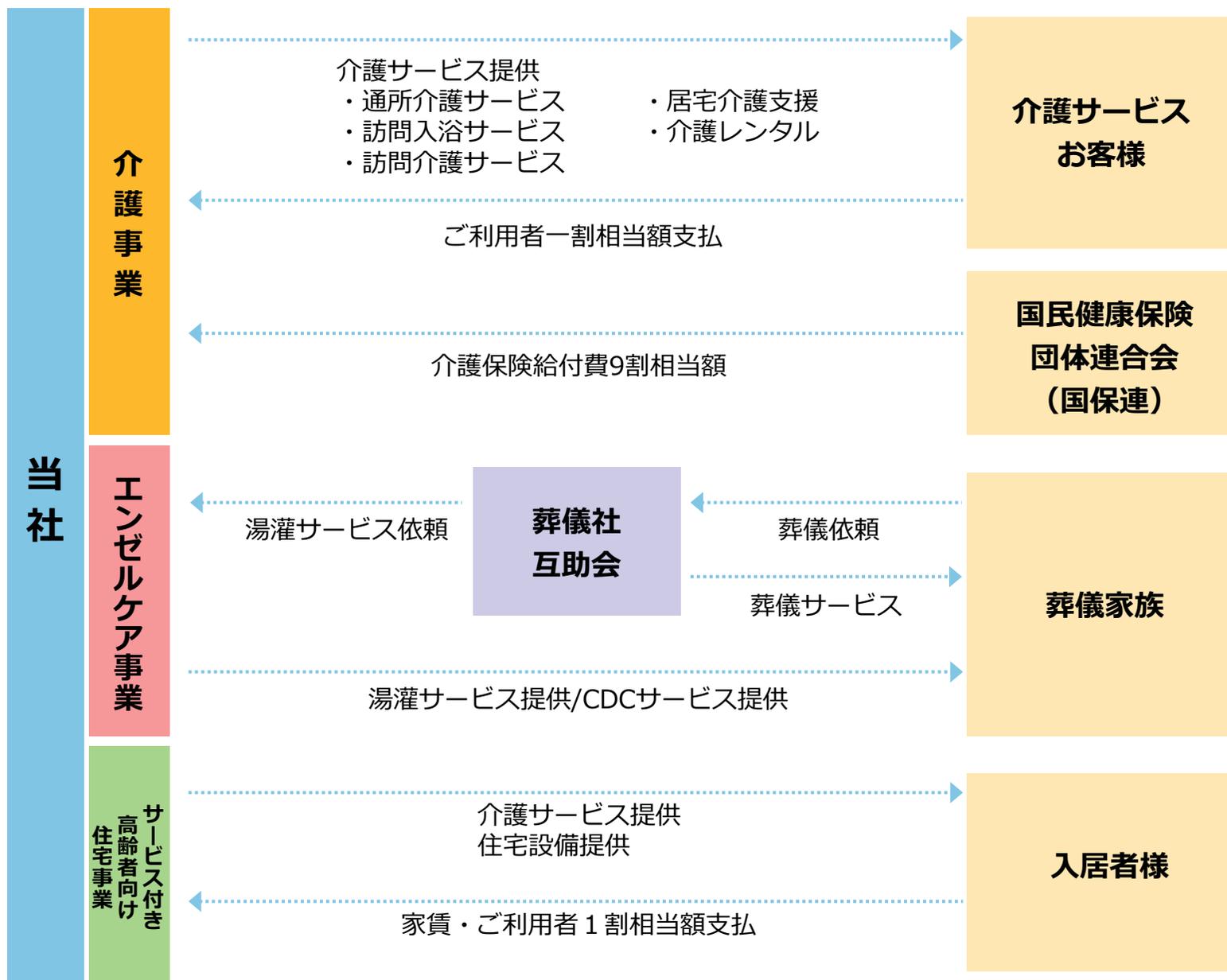


介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

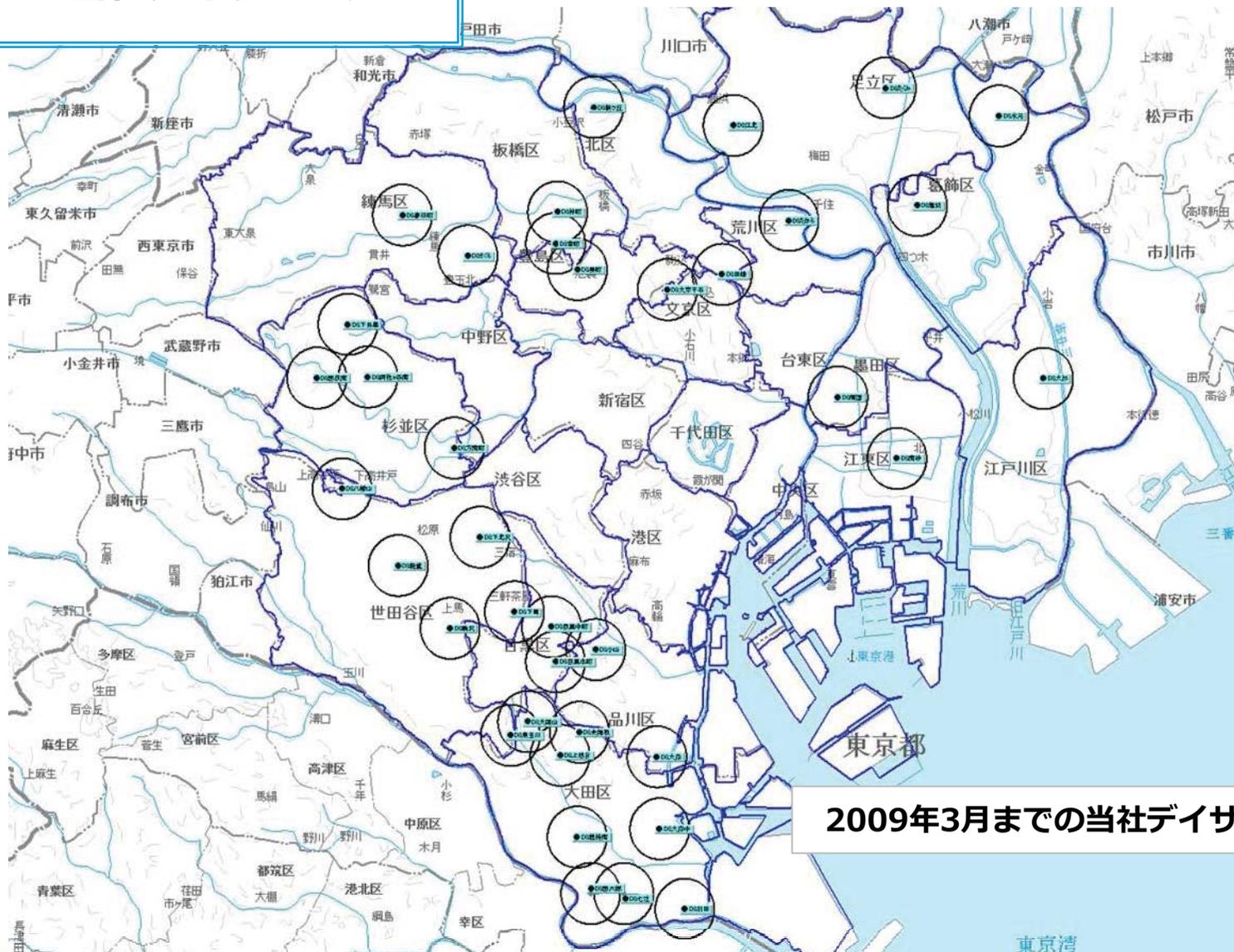
参考資料② ケアサービスの変遷

- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）などを開設





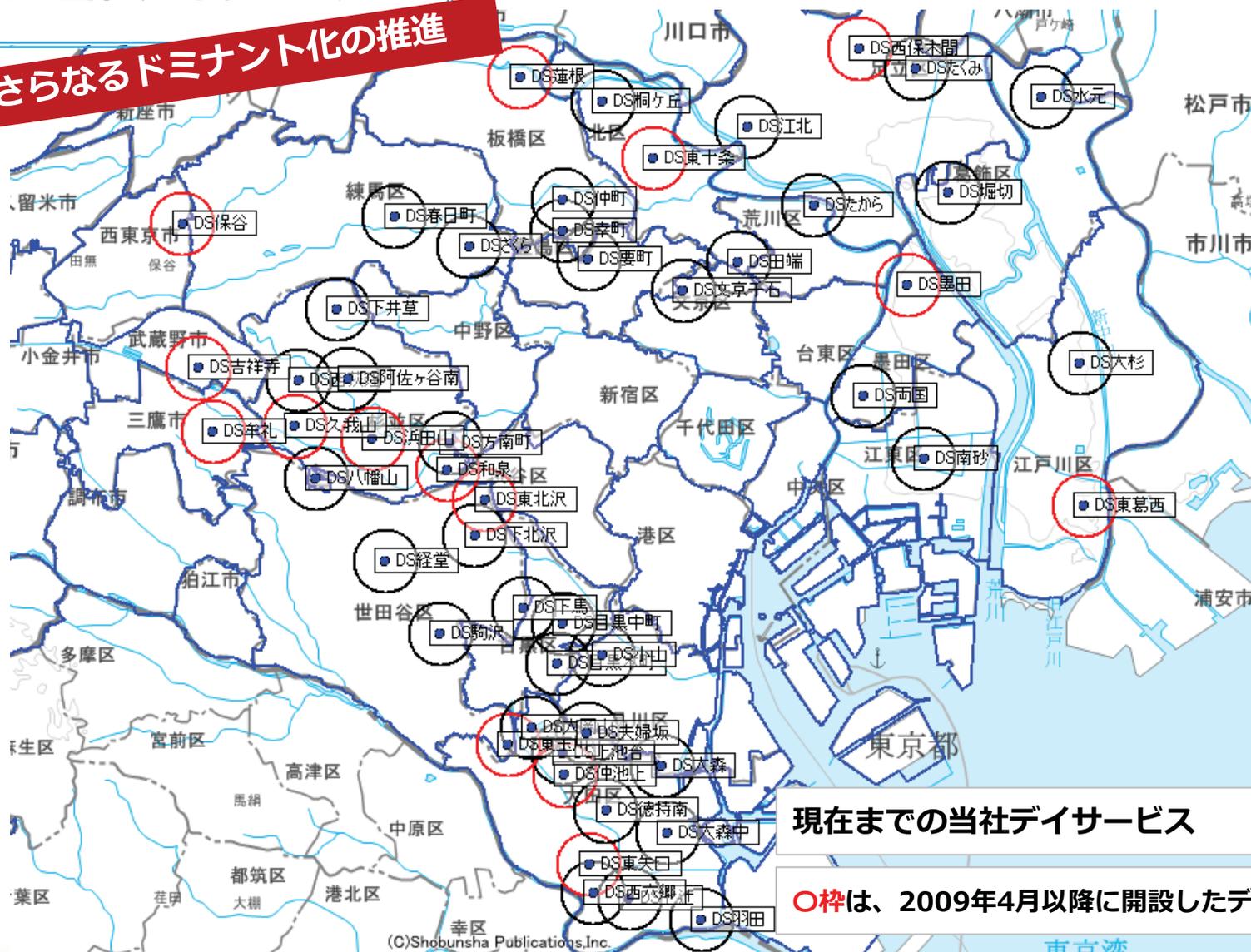
東京都内 当社デイサービス



出所：Terra Map

東京都内 当社デイサービス

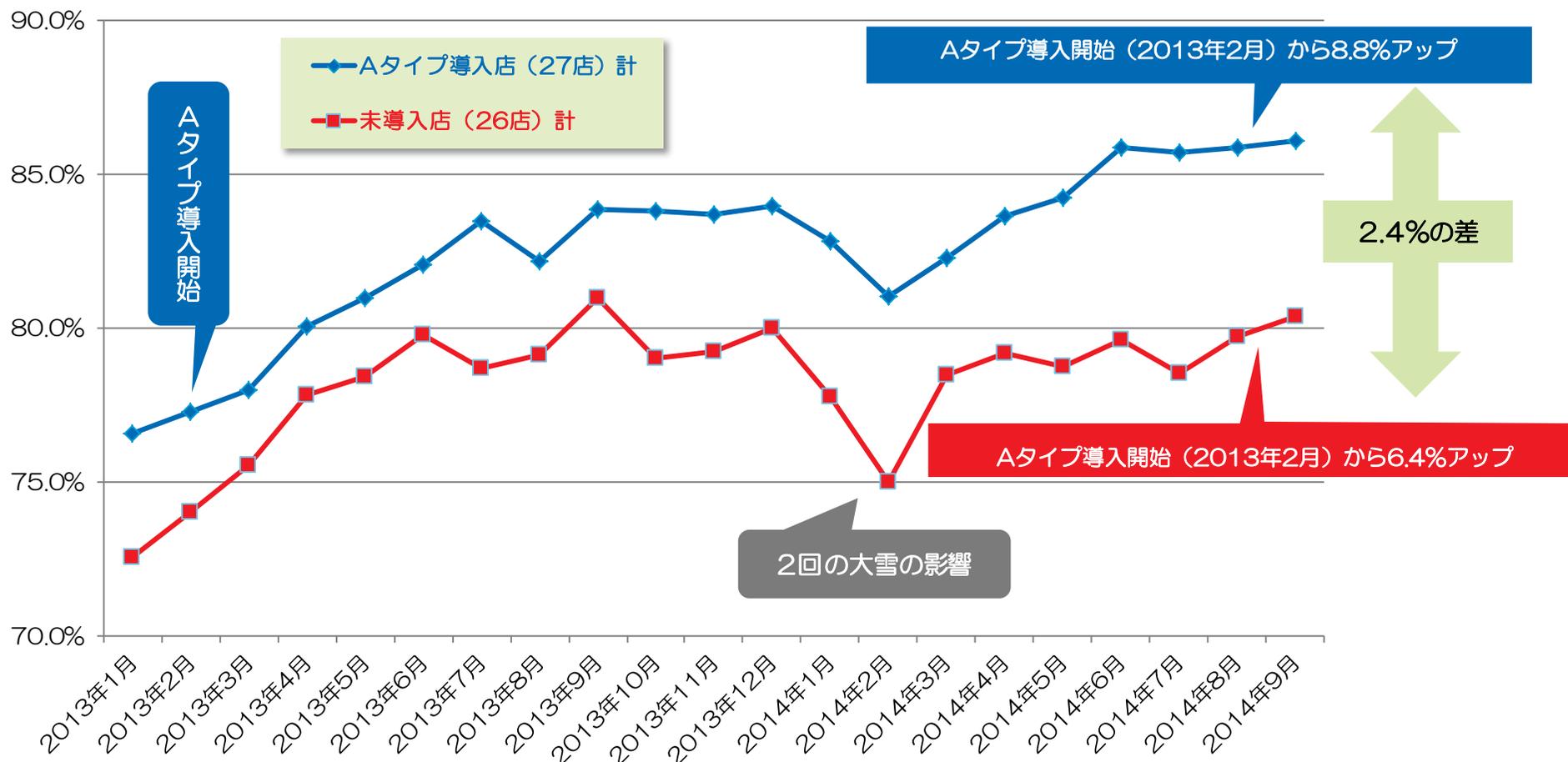
さらなるドミナント化の推進



出所：Terra Map

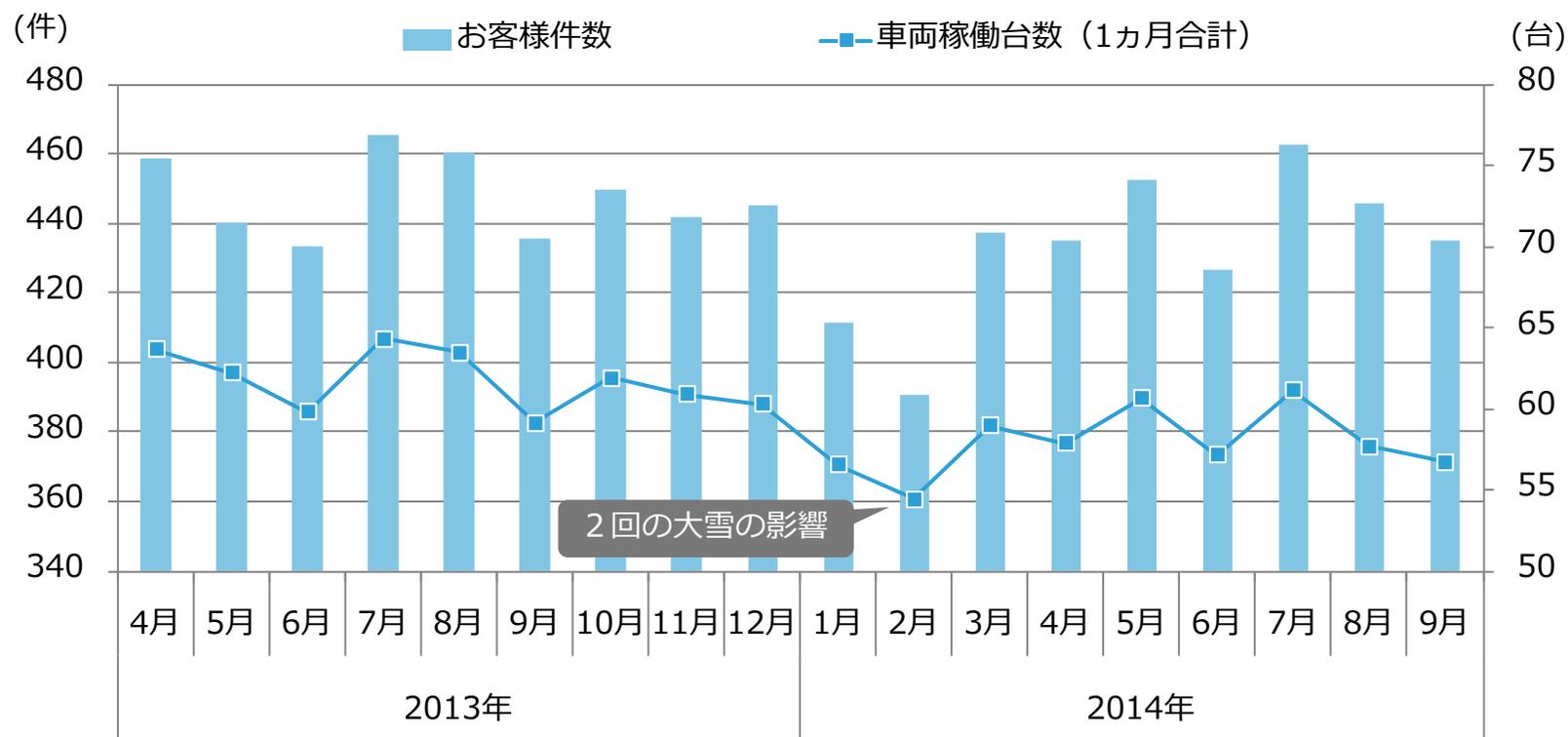
■ Aタイプの導入目的：稼働率の向上及び母体数の増加

- 稼働率向上及び母体数増加のための施策⇒品質の向上：スタッフの人間性の育成



■ 入浴車両一台当たり9件/日为目标とした母体数増加を目指す

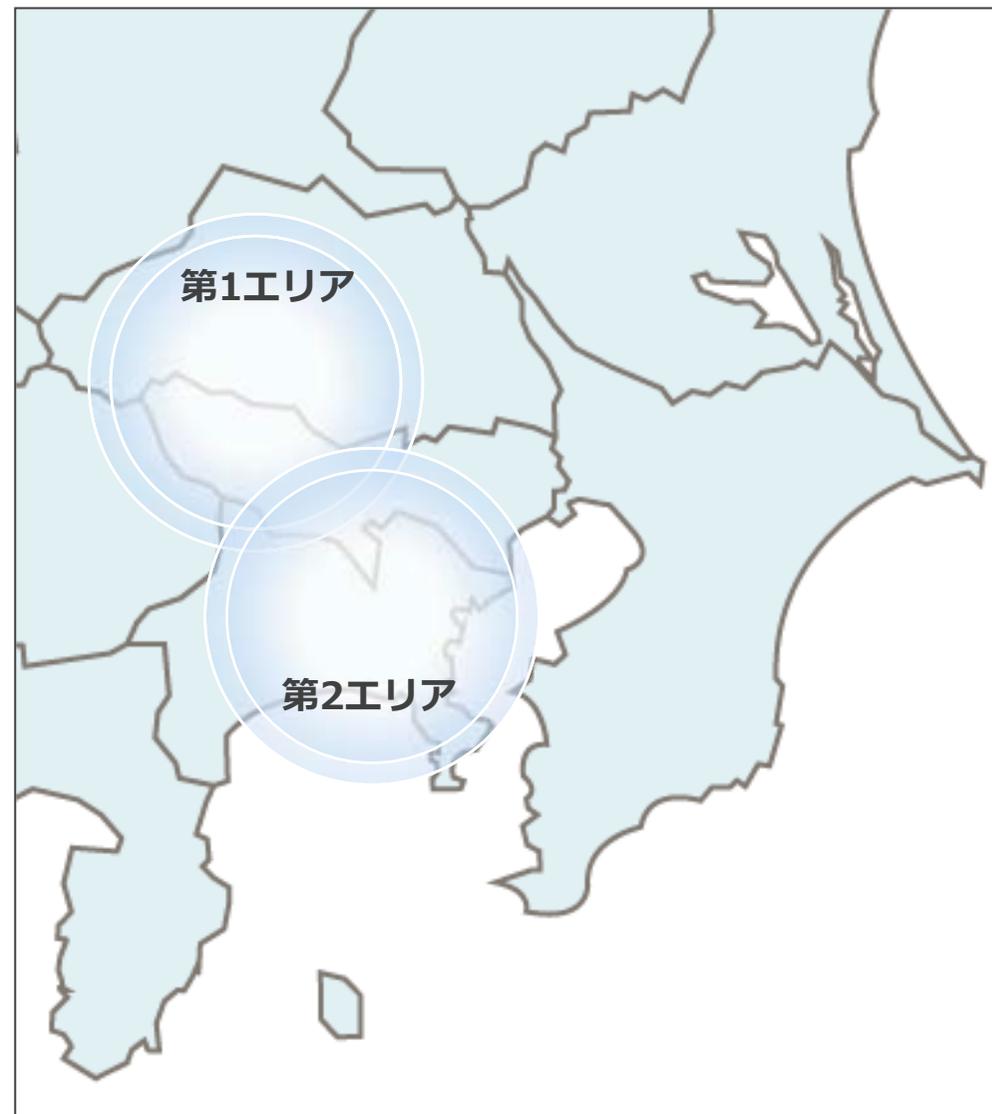
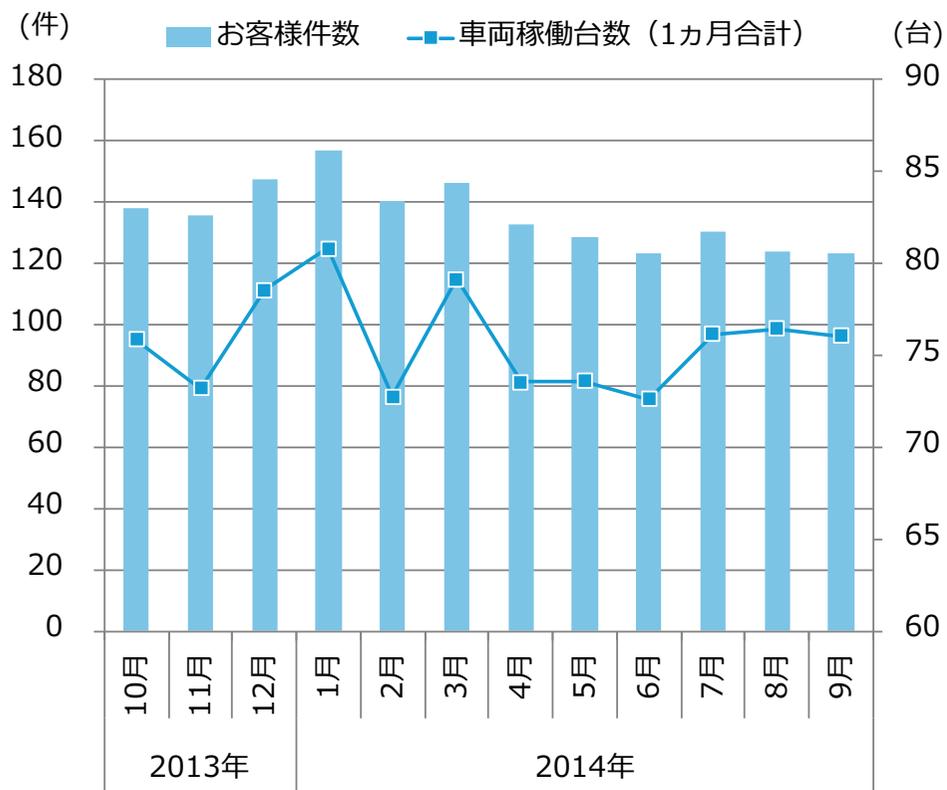
お客様件数と車両稼働台数（1ヶ月合計）の推移



■ 拠点数増による配車効率の向上

- 第1エリア
- 第2エリア

第1エリア、第2エリアを中心とした拠点数
増強により配車効率の向上を目指す



■ 市場環境の前提

- 社会の高齢化は引き続き進むものの、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	14/3月期 実績	15/3月期 予想	16/3月期 計画	17/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
売上高	(百万円)	7,342	7,724	8,212	8,610	5.6%
介護事業	(百万円)	5,356	5,644	5,971	6,289	5.6%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,602	1,639	1,693	1,728	2.7%
フォーライフ事業	(百万円)	383	440	547	592	16.0%
営業利益	(百万円)	224	277	370	455	28.1%
経常利益	(百万円)	219	266	357	441	28.9%
当期純利益	(百万円)	117	150	200	250	29.1%

主要拠点数

デイサービス	(拠点)	52	55	58	61	5.3%
エンゼルケア	(拠点)	20	20	20	20	0.0%
フォーライフ※	(拠点)	3	4	4	4	0.0%

※ 特定施設入居者生活介護の認可を受けております



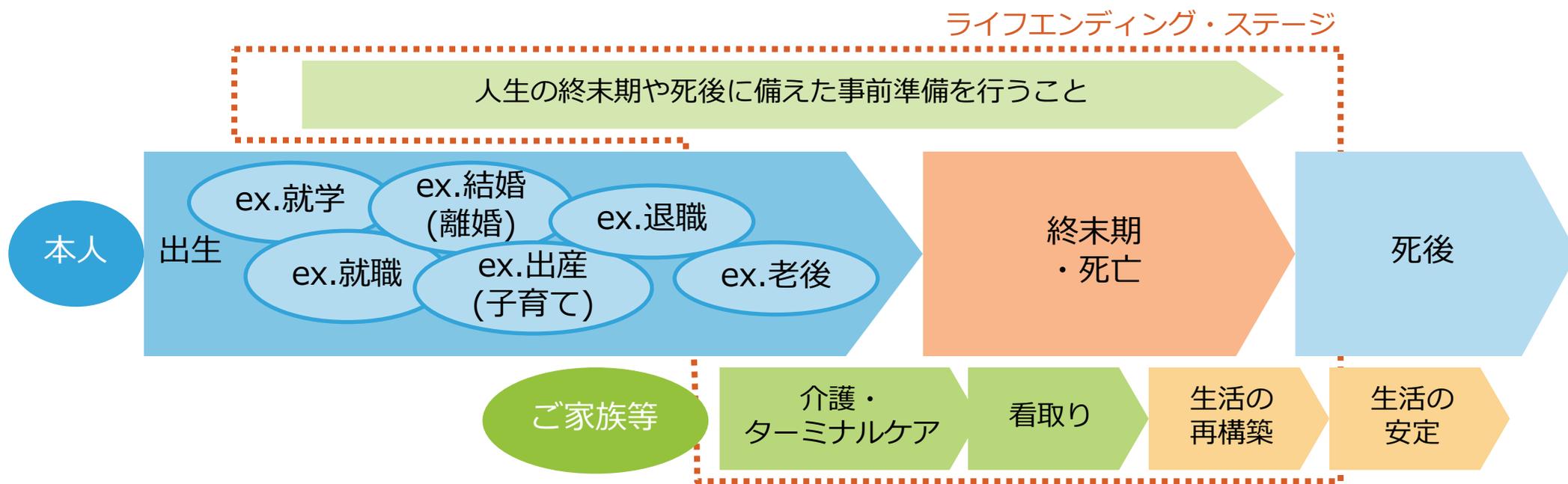
介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料③

高齢者サービスの方向性 (ライフエンディングステージ)

安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けたケアサービスの取り組み

- お客様一人ひとりのQOL (Quality of Life : 人生や生活の質) の維持・改善を図るとともに、「ライフエンディング・ステージ」に向けての準備のための啓発
- デイサービスセンターを核とした地元密着型のコミュニティ作り



出所：経済産業省

ライフエンディング・ステージとは

2011年8月、安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けて～新たな「絆」と生活に寄り添う「ライフエンディング産業」の構築～と題する報告書を経済産業省が公表し、基盤整備に向けた取り組みが進められています。

介護事業、エンゼルケア事業の双方を持つ当社の強みを活かした新規事業への取り組み

「心豊かな人生を」「そして感動の旅立ち」の市場をつなぐ事業モデルを構築

高齢化の進捗とともに
拡がるサポート領域
重要となる通所介護サービスの進化

生前準備支援

- 生活支援サポート
(ハウスクリーン・介護用具貸与・見守りサービス等)
- エンディングノート(元気なうちから準備)
- 葬儀相談(自分の求める形での葬儀)

居宅支援(介護の相談窓口)

デイサービス(通常/認知症)

訪問入浴

訪問介護

グループホーム・
多機能等

サービス付き高齢者向け住宅
(フォーライフ)

心豊かな人生を (介護事業)

介護の到達点
～感動の旅立ち～

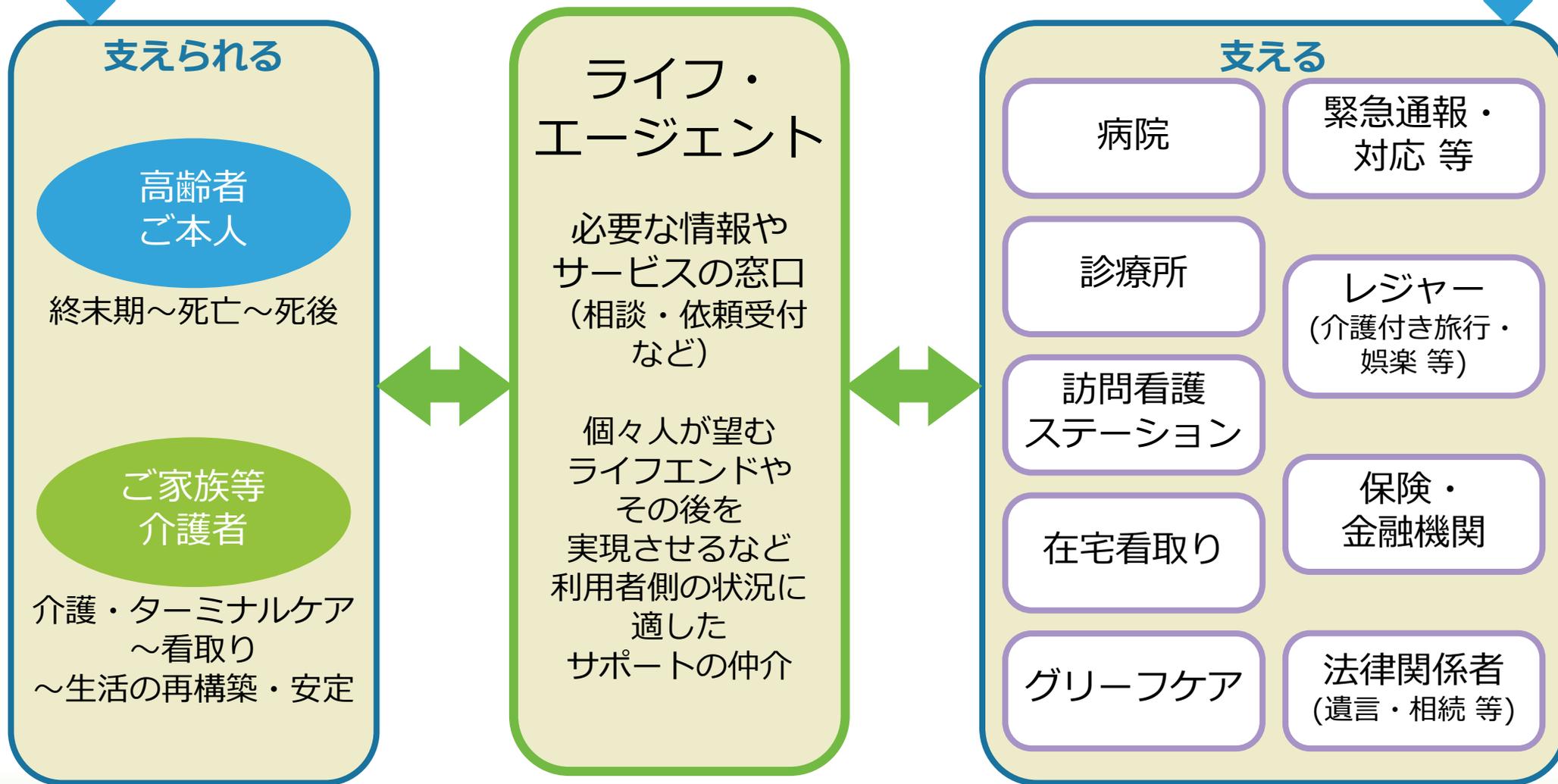
「湯灌サービス」
「お化粧品サービス」

旅立ち後の支援
～残されたご家族に～

「遺品整理サービス」
「遺品供養サービス」
「ハウスクリーン
サービス」

そして感動の旅立ち (エンゼルケア事業)

当社と繋がるすべての方々の「豊かなくらし」と「安心できる未来」のために
価値ある価格で充実したサービスを提供



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部

TEL 03-5713-1611

E-mail ir@care.co.jp